

[illegible]

「第一回まち歩き」ご報告

防災部会事務局

本年2月24日（土）午前中に3町内合同20名の方々と第一回まち歩きを行いました。

防災活動を実施する上で、防災の観点からまちの状況を知り、共有化し、記録として積み重ねていく事が大切です。昨年6月には防災部会で災害想定机上訓練を行いました。その結果、いくつかの懸念個所を共有化しました。その情報を念頭におき、一丁目、二丁目、見晴台の各所を見て回りました。その概要は以下の通りです。

＜一丁目＞県営高層からスタートし、水道ポンプ施設往復、中層フェンス際、公園、見晴台通路、保育園駐車場、水道タンク、集会所のルートを見て回りました。中山峠からの道路際の倒木と土砂崩れの懸念があります。ここは高崎市のハザードマップにも記載されている代表的な懸念個所です。高層から中層にかけてフェンスの変形を確認しましたが特に異常個所はありませんでした。地盤がずれた形跡は見当たりませんでした。一丁目と二丁目の間に大きな沢が2つありますが、今回は特に異常はありませんでしたが引き続き確認が必要な箇所です。水道水貯蓄槽のある周りにも異常はありませんでした。

＜二丁目＞小学校南側側面、二丁目東側住宅街側面、北側住宅街側面、東公園北側側面、根小屋駅に通じる坂道、コンビニまでの道路両側から歩道全域のルートを見て回りました。大部分ののり面は擁壁措置が施行されており外見上からは危険と判断できる個所は把握できませんでした。

街路樹には大きくなり過ぎて根上がりしている木が増えています。倒れると道路閉鎖、停電などの懸念があり昨年は4本を伐採しました。

引き続き市に折衝してまいります。

＜見晴台＞まちの通路のほぼ全域を見て回りました。55年位前のひな壇型宅地造成の石垣の老朽化が見られ引き続きの見回りがが必要です。

基礎鉄骨の腐食が進行している個所があります。木製街路灯の腐食がありこの後交換をしました。



保育園駐車場から見た沢の写真



引き続き、2月頃に三町内の「まち歩き」を計画してまいります。



始めましょう防災備蓄！ 非常食は何を準備すればいいのでしょうか

- ・基本は、日常食ですね。 備蓄に便利なのはパックご飯、乾麺（うどん、スパゲッティ、ラーメンなど）即席みそ汁、缶詰、お菓子、ジュース類など日常食から保存に適したものを家族構成から考えて3日分は備蓄しましょう。併せて検討して頂きたいのは

停電の時に湯が沸かせるか、鍋で調理できるかです。カセットコンロ等を備えましょう。

- ・非常食は様々販売されています。乾パン、ビスコ、アルファ米、缶詰、パンの缶詰などがあります。災害は3日間より長引く事は十分あり得ます。補助食として備蓄を検討しましょう。

日常食で3日分備蓄＋非常食で補充＋カセットコンロなど停電対策

編集後記 今年も太平洋の日本近海の海水温が高くなっています。すでに西日本では線状降水帯による災害が発生しています。明日は我が身と考えてご自宅の備えを進めましょう。（編集委員）